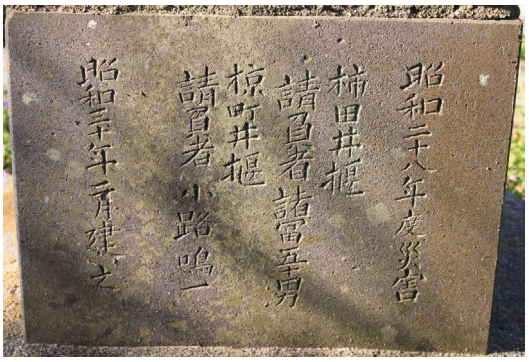
番号	45	柿田椋町　井堰復旧記念		
所在地		多久市南多久町大字下多久		
災害別		昭和２８年（１９５３）　水害（２８水）		
目的別		記念碑	建立年	昭和３０年２月
特記事項				

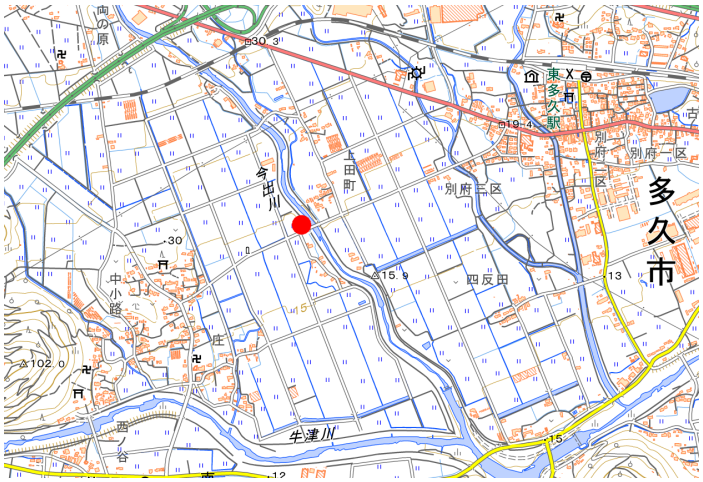
昭和２８年６月２５日から２８日にかけての水害（通称２８水）により、多久市を流れる今出川沿いにある柿田と椋町の両井堰が崩壊した。この碑は昭和３０年に両井堰の復旧を記念して、川沿いにある太子堂の敷地に建てられたものである。

碑の台座正面には「昭和二十八年度災害　柿田井堰　請負者氏名（略）　椋町井堰　請負者氏名（略）　昭和三十年二月建立」と記され、右面には市会議員等の氏名が記されている。

井堰は、河川を堰止めて用水路等に農業用水を取り入れるための施設で、この碑の向かい側に堰が設けられ取水口から農地に水が送られるようになっている。しかしこの井堰が柿田井堰なのか椋町井堰なのか不明。

今出川はこのすぐ下流で牛津川、石原川と合流するため、合流地点付近は水害常襲地帯となっている。平成２年７月１日から２日にかけての大水害を受け、国の直轄河川激甚災害対策特別緊急事業で南多久牟田部地区に遊水地が設けられた。





国土地理院電子国土 Web